

## 令和2年度教科用図書北諸県採択地区協議会

### 1 会議が開催された日時及び場所

- 第1回北諸県採択地区協議会

日時：令和2年6月2日（火）13:00～15:00

場所：都城市中央公民館 大会議室

- 第2回北諸県採択地区協議会

日時：令和2年7月7日（火）9:00～15:00

場所：都城市中央公民館 大会議室

### 2 出席者氏名

- 北諸県採択地区協議会委員

No.	役名	職名等	氏名
1	会長	都城市教育長	児玉 晴男
2	委員（副会長）	三股町教育長	石崎 敬三
3	委員（監事）	都城市教育委員	赤松 國吉
4	委員（監事）	三股町教育委員	中村 俊郎
5	委員	都城市保護者代表	野口 勇心
6	委員	三股町保護者代表	福重 昭宏

- 事務局（都城市教育委員会）


No.	役名	職名等	氏名
1	事務局長	都城市学校教育課長	深江 祐史
2	事務局（総括）	都城市学校教育課副課長	小野田 武晃
3	事務局（書記）	都城市学校教育課指導主事	児玉 直樹
4	事務局（会計）	都城市学校教育課主幹	大久保 美千代

### 3 会議の議事の経過及びその結果の要旨 別紙

### 4 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

都城市教育委員会 学校教育課 指導主事 児玉 直樹

会長： 児玉 晴男 

副会長： 石崎 敬三 

第1回北諸県採択地区協議会 議事録

【協議】

令和2年6月2日

発言者	発言内容
事務局	<p>【議長選出】について 議 長：児玉 晴男 都城市教育長</p>
事務局	<p>【役員選出】について 会 長：児玉 晴男 都城市教育長 副 会 長：石崎 敬三 三股町教育長 監 事：赤松 國吉 都城市教育委員           中村 俊郎 三股町教育委員</p>
会長	<p>【事務局長、書記、会計の任命】について 事務局長：深江 祐史 学校教育課長 書 記：児玉 直樹 指導主事 会 計：大久保 美千代 主幹</p>
会長	<p>【事業計画】について 提案どおり</p>
会長	<p>新型コロナウイルス対策のため、密を避けるなど、十分な対策を行いながら研究を進めていただきたい。</p>
会長	<p>【予算案】について 提案どおり</p>
会長	<p>【専門委員の委嘱】について 提案どおり</p>
事務局	<p>【教科書採択の観点案】について 県の作成した観点1から観点3に加え、地区の実情に応じた観点として、本地区の「生徒の実態上の課題」をもとに、観点4を設定した。「生徒の実態上の課題」は、本地区の教職員からの意見を集約したものである。本観点案を各専門委員会で検討・確認した上で、教科書研究を進めることになる。</p>
会長	<p>事務局が作成した教科書採択の観点案について、提案どおりでよろしいか。</p>
委員	<p>異議無し。</p>
会長 事務局	<p>【情報公開】について 昨年度と同様に、議事録の全面公開で提案する。 提案どおり</p>

国語・書写 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	国語、書写の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (国語・書写 質疑応答)
会長	書写の教科書にはUDフォントが使われている。特別な支援が必要な生徒にも有効であると聞くが、実際にUDフォントは有効であるか。
専門委員長	長時間読んでも疲れにくく、より多くの人に伝わりやすいことがポイントである。線の太さ、長さなど、生徒が読みやすいフォントであるため、特別な支援の必要な生徒にとっても有効であると思われる。
会長	来年から1人につき1台のコンピュータを活用できる環境で学習活動を行うが、教科書のQRコードについて、各発行者の特徴はどうか。
専門委員長	どの教科書にもQRコードが掲載されている。巻頭、巻末や单元ごとに掲載されている。各発行者に共通しているのは、QRコードを読み取ると、音声や動画のコンテンツにつながる。
会長	QRコードが单元ごとに掲載されている発行者はどこか。
専門委員長	光村図書である。QRコードでアクセスするとすぐにコンテンツにつながるが、巻頭や巻末にある他の教科書では、まずコンテンツの一覧が表示され、そこから見たいコンテンツを選択するようになっている。
委員	各発行者はUDフォントや配色など、ユニバーサルデザインの視点からどのように工夫しているか。
専門委員長	行を追って読むことが苦手な生徒のために、文書の下に数字を記載したり、点を打ったりし、行を数えやすくしている工夫が見られる。また、挿絵などを使って視覚的にわかりやすくしている教科書もある。

理科 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	理科の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。
会長	(理科 質疑応答) 啓林館の最後の裏表紙に QR コードが掲載されている。QR コードについて、啓林館は他の発行者と異なる特徴があるのか。
専門委員長	QR コードについては、どの発行者も掲載しているが、啓林館は他の発行者と比べて QR コードの数が圧倒的に多い。更に、啓林館は QR コードを読み取ると、すぐに見たいコンテンツを閲覧できるという工夫がなされている。
委員	理科はいろいろな図版や写真を使っているが、郷土、例えば都城や宮崎県に関する写真を使っている教科書はあるか。
専門委員長	多くはないが、各発行者に掲載されている。啓林館においては、宮崎の砂岩、高千穂峡の凝灰岩の写真などがある。
委員	啓林館の1年生の教科書には、新燃岳の夜間の噴火の様子が大きく掲載されており、とても良い写真を使っている。
専門委員長	どの発行者も、写真が大きくインパクトのある写真を使っている。
委員	東京書籍だけが A4 サイズだが、メリット、デメリットを教えてほしい。
専門委員長	東京書籍は、実験の流れが1ページでわかるように工夫がされている点はメリットだが、理科室の実験台で教科書を広げたときに、すぐに閉じてしまわないか気になる。広げたときに幅が広い方が安定しやすいと思われる。

保健体育 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	保健体育の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。

事務局長	委員より質問を受け付ける。 (保健体育 質疑応答)
会長	動画は日常生活をよりよくするために大きな役目を果たすのか。
専門委員長	例えば、人工呼吸法や運動などの正しい動きを動画で確認することにより、生徒は実際のイメージが湧きやすく、探究心をもちながら理解を深めることができるため、動画は必要だと考える。
委員	東京書籍は、コンテンツの一覧が示されているが、他の発行者はどうか。一覧があると、学習の際に利用しやすいのではないか。
専門委員長	東京書籍には一覧があるが、他の発行者にはない。生徒も教師も一覧があるほうが活用しやすいと思われる。
委員	東京書籍以外の発行者にも QR コードは掲載されているのか。
専門委員長	QR コードはどの教科書にも掲載されている。

国語・書写、理科、保健体育 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、国語・書写、理科及び保健体育の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (国語・書写の協議)
会長	国語について御意見をいただきたい。
委員	地域の生徒の実態から見ると、内容を正確に読み取ったり、論理的に書いたりすることが大切である。その観点から見たときに、例えば、光村図書の2年生の教科書に大岡信さんの言葉の力が掲載されている。昔からある文章であるが、志村ふくみさんという染色家の桜色に染まった着物を見て、作者は桜の花びらを煮詰めて色を取り出したと思ったのだが、桜の幹の皮をはいで煮詰めないとこの色は出ないという。それも花の開花の直前の時期だけである。ピンクの樹液を吸い上げて、えもいわれぬ色を取り出せるというこの文章を以前読んで感動した。国語の教科書を読んで、優れた文章から受ける感動や感銘は生徒に大きなインパクトを残すと思う。生涯忘れないような文章だが、光村図書は優れた読み物を用意していると思う。

国語・書写、理科、保健体育 協議

発言者	発言内容
委員	<p>光村図書は QR コードが使いやすいように工夫されている。また、紙面の色使いも落ち着いており、読みやすさもある。</p>
委員	<p>光村図書は、教科書の学習の流れで見ると、本文があり、関連本の紹介がある。本文を深く読んで、一般化して応用するという一貫した流れがあるので、光村図書は優れている。また、QR コードを読み取ると、平家物語を音声で聞くことができ、驚いた。</p>
会長	<p>光村図書という声が多いが、他はないか。現在使っている教科書は東京書籍である。これまでの意見では光村図書が多いが、他にあると言われるのであれば御意見いただきたい。</p>
委員	<p>東京書籍の「卒業ホームラン」は生徒が好みそうな読み物ではないか。</p>
会長	<p>確かにそう思う。しかし、東京書籍は、UD フォントを採用しておらず、見やすさ、使いやすさは光村図書ではないだろうか。</p>
会長	<p>それでは、国語の選定に入る。(挙手で確認) 光村図書 6 名となった。国語は光村図書に決定する。</p>
会長	<p>次に、書写の協議に入る。 書写について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>東京書籍の QR コードからつながるコンテンツには、説明付きで動画があり、効果的だと思った。</p>
委員	<p>手本を見て自分の字の書き方ときれいな書き方とどこが違うのかを自分で見つけて、字の形を整えていくことが大切である。どの教科書も甲乙つけがたいが、東京書籍の硬筆が手本としてはよく整理されている。 東京書籍がよいのではないかという意見があるが、他に意見はないか。</p>
委員	<p>文字文化への関心をもたせるという点では、教育出版が、コラムなどで文字に興味をもたせるようなイラストを多く使用していると感じた。</p>

国語・書写、理科、保健体育 協議

発言者	発言内容
会長	<p>東京書籍、教育出版の2者から選びたい。                      それでは、書写の選定に入る。(挙手で確認)                      東京書籍5名、教育出版1名となった。書写は東京書籍に決定する。</p>
会長	<p>次に、理科の協議に入る。                      理科について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>東京書籍は探究の流れが一覧に縦に並べられており見やすい。</p>
委員	<p>啓林館の1年生101ページを見て驚いた。やわらかい地層の表面を接着剤と布で固めると、はぎとることができることや、オナモミからヒントを得てマジックテープが開発されていること、更にかたつむりの殻からプリンカップを開発したことなどが紹介されている。理科では日常生活と結びつけて考えるきっかけや驚きが大切である。</p>
委員	<p>教育出版は、教科書を広く活用して文字が書かれており、読みやすい。啓林館は写真などの資料と資料の間に文字が書かれており狭く感じる。</p>
会長	<p>意見の出た3者で選定していく。他に御意見はないか。</p>
委員	<p>デジタルコンテンツの数は啓林館が多い。東京書籍は学習するページにデジタルコンテンツがない。授業の流れを追って使用することを考えると、啓林館はそのページにあるので活用しやすい。</p>
会長	<p>それでは理科の選定に入る。(挙手で確認)                      教育出版1名、啓林館5名となった。理科は啓林館に決定する。</p>
会長	<p>次に、保健体育の協議に入る。                      保健体育について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>東京書籍のデジタルコンテンツが充実しているのはよい。</p>
委員	<p>東京書籍のQRコードは巻頭のみであるが、独自の動画があり内容が充実している。更に、巻末資料にインターネットによるコミュニケーションやトラブルが掲載されており、本地区の生徒の課題に対応したものになっている。</p>

国語・書写、理科、保健体育 協議	
発言者	発言内容
会長	それでは保健体育の選定に入る。(挙手で確認) 東京書籍6名となった。保健体育は東京書籍に決定する。

数学 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	数学の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (数学 質疑応答)
会長	QRコードについて、各者の違いはどうか。
専門委員長	研究においてQRコードの掲載が少ない教科書は1箇所、多い教科書は44箇所を確認した。QRコードからつながるデジタルコンテンツの数については、最も少ない教科書で7、最も教科書で50と差があることを確認した。数に差はあるが、どの発行者も分かりやすい動画等を揃えている。
会長	特にデジタルコンテンツが多かったのはどの教科書か。
専門委員長	啓林館と数研出版が、他の教科書よりもかなり多かった。

美術 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	美術の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (美術 質疑応答)
会長	どれを見ても非常にカラフルで美術らしい教科書である。本市の小規模校では専門の先生がいない学校もあるため、専門の美術の教師以外でも教えやすいという視点から各者どのような工夫が見られるか。



美術 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長	今から作るものは何か、どのように作ればよいのかイメージしやすい画像や説明が多く掲載されているのは光村図書である。日本文教出版は教科書のレイアウトがすばらしい。開隆堂はその2者の中間的な要素がある。
委員	より身近な生徒作品に触れるという視点から工夫されている教科書はどこか。
専門委員長	どの発行者も生徒作品を多数掲載しており、QRコードを読み取ると生徒作品につながるものもある。生徒作品の制作過程を具体的に紹介しているのは光村図書である。

音楽 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長	音楽の研究成果について、報告を求める。 (説明)
事務局長	委員に見本本の閲覧を促す。
事務局長	委員より質問を受け付ける。 (音楽 質疑応答)
委員	音楽一般も音楽器楽のどちらも、QRコードを読み取ることで演奏を聴くことができるのか。
専門委員長	どの教科書もQRコードがあり、QRコードからデジタルコンテンツにつながるため、演奏などを聴くことができる。
会長	QRコードについては、教育出版には「まなびリンク」が目次のところにあり、教育芸術社には、教科書の背表紙にQRコードがあり、それぞれデジタルコンテンツにつながる。コンテンツの内容についてはどうであったのか。
専門委員長	QRコードからつながるコンテンツについて、教育出版には音声、動画、ワークシートの内容があり、教育芸術には、音声、動画、テキストコンテンツ、他のサイトへのリンクの内容があった。

数学、美術、音楽 協議

発言者	発言内容
事務局長	<p>では、数学、美術、音楽の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (数学の協議)</p>
会長	<p>数学について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>数学は、系統性の強い教科書であるので、予習や復習が十分にできる教科書がよい。その点ではQRコードの充実が極めて重要なポイントである。QRコードの掲載が充実している啓林館の教科書が優れているのではないかと。</p>
委員	<p>予習や復習のしやすさでは、数研出版がよい。例えば、2年生の数研出版の教科書140ページと啓林館の教科書の125、126ページを比較してみると、数研出版は、生徒や教師のイラストと会話があり、そこに教師がアドバイスをし、最後、青い枠にまとめという流れになっている。一方、啓林館は読み進めないと分からない部分がある。数研出版の場合は、一目で分かるような工夫がある。生徒が主体的に学んだり、自学自習をしたりしやすい教科書だと思う。</p>
会長	<p>専門委員長の説明では、啓林館は解決するまでの流れを4段階に分け、丁寧に分かりやすく説明する工夫があるということであったが、確かにかなり細かく分けられており、細かなステップで学習することができる。またQRコードからつながるデジタルコンテンツの充実やコンテンツへのたどりやすさもある。</p>
委員	<p>啓林館の2年生の教科書112ページからと、数研出版の128ページからを比較すると、説明は数研出版の方が分かりやすい。また、数研出版の2年生の教科書130ページはカラフルで分かりやすい。分からない生徒が疑問に思ったことが示され、更に答えまで示されているので、数研出版の方が分かりやすいと思う。</p>
委員	<p>数研出版は分かりやすいと思うが、授業場面で使いやすいかどうか疑問である。数研出版は結論まで一目で見えてしまうので、教える過程というのがどのように成り立っていくのだろうかという疑問がある。教科書を授業の場面や自学自習の場面で、どのように使うのかを指導者や生徒が考えなければならないのではないかと。</p>
会長	<p>生徒が苦手な「証明」の学習を例に挙げると、仮定と結論を言葉でどうつなぐかが重要である。例えば、2年生の啓林館の教科書114ページには証明の際にキーワードとなる表現が書かれている。そのような表現の有無によって違いはあると思われる。</p>

会長	<p>それでは数学の選定に入る。(挙手で確認)</p> <p>数研出版 1 名、啓林館 5 名となった。数学は啓林館に決定する。</p>
会長	<p>次に、美術の協議に入る。</p> <p>美術について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>光村図書の方が、QR コードや動画が充実している。制作過程や用具関係の動画が豊富にあった。</p>
委員	<p>1 年生の光村図書の教科書 2 4 ページに生徒作品が、どのように仕上がるのかが掲載されている。作品を仕上げる過程が分かりやすく示されているので、制作の参考になる。</p>
会長	<p>それでは美術の選定に入る。(挙手で確認)</p> <p>光村図書 6 名となった。美術は光村図書に決定する。</p>
会長	<p>次に、音楽の協議に入る。</p> <p>音楽一般について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>教育出版の QR コード「まなびリンク」は、内容が充実している。</p>
委員	<p>生徒が知覚・感受したことを表現につなげるためには教育出版が優れていると思われる。</p>
会長	<p>それでは音楽一般の選定に入る。(挙手で確認)</p> <p>教育出版 6 名となった。音楽一般は教育出版に決定する。</p>
会長	<p>次に、音楽器楽について御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>教育出版の QR コードが充実しているのは、音楽一般と同じである。</p>
会長	<p>それでは音楽器楽の選定に入る。(挙手で確認)</p> <p>教育出版 6 名となった。音楽器楽は教育出版に決定する。</p>

社会（地理・歴史・公民）・地図 報告 質疑

発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	社会の地理・公民・地図の研究成果について、報告を求める。 （説明） 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 （社会の地理・公民・地図 質疑応答）
委員	発行者によって、同じ内容を数行しか扱わないものもあれば、見開きで扱うものもある。このように扱う量や内容は異なるものか。
専門委員長	発行者によって記述の仕方、取り扱い方は異なってくるが、全て文部科学省の検定を経ているので問題はない。
委員	地理、公民、地図それぞれについて、日本の領土問題の取り上げ方について特色があれば教えてほしい。
専門委員長	領土問題については、地理の最初の段階で取り扱う。尖閣諸島、北方領土等を含めて2ページから4ページある。また、公民でも領土問題を取り扱っている。
会長	1人につき1台のコンピュータを活用する時代になるが、そういう意味では、デジタルコンテンツの充実が欠かせない。それぞれの教科書の特徴はどうか。
専門委員長	どの発行者もQRコードを掲載しているが、発行者によってはまだ提供されていないものもある。特色として、帝国書院の地図の画像は新しい印象を受ける。ただし、帝国書院のデジタルコンテンツは作成中のものが多く、確認できないものもあった。日本文教出版のデジタルコンテンツにはワークシートが含まれている。
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	社会の歴史の研究成果について、報告を求める。 （説明） 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 （社会の歴史 質疑応答）
委員	日本の歴史と世界の歴史は相対的に学習するべきだと考えるが、各教科書の年表を見るとそうではないものもある。その点の工夫はどうであるか。

専門委員長	世界の影響を受けた事象もあるため、日本の歴史年表の中に世界の歴史も含む発行者や、最後のまとめで世界を意識させている発行者もある。
会長	学ぶ生徒や教える教師にとって、地理、歴史、公民の発行者が異なるのはどうか。
専門委員長	生徒にとっては、教科書が同じである方が同じ構成や語句等を用いて教科書が展開されるため、学びやすいと思われる。また、教師にとっても同様に、特に小規模校においては、同じ教師が地理・歴史・公民の全てを教えなければならない場合もあるため、統一された教科書の方が教えやすいと思われる。

社会（地理・歴史・公民・地図） 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、社会の地理・歴史・公民・地図の選定に入るので、会長に司会をお願いする。
会長	（社会の協議） 地理、歴史、公民について御意見をいただきたい。
委員	同じ発行者のものを選んだほうがよい。生徒はまず、地理と歴史を学んで公民に進んでいくことを考えると、一貫した考え方で教える方が生徒にとっても教師にとってもよい。
委員	同じ進め方で指導しやすくなるため、同じ発行者の教科書がよい。
会長	地理・歴史・公民は同じ発行者でよろしいか。
委員	そうすると、3種類発行していない山川出版などの発行者は選定対象から外れることになる。
会長	同じ発行者にするか、別々の発行者にするかも含め、御意見いただきたい。
委員	歴史の山川出版の教科書は、観点2の「確実に身に付けさせるために」という視点で考えると、こちらがよい。
委員	専門委員長の意見にもあったように、同じ発行者がよいと思われる。

社会（地理・歴史・公民・地図） 協議	
発言者	発言内容
会長	ここで地理・歴史・公民の教科書が同じ発行者でよいかどうかを決めたいので、どちらかに挙手をお願いします。（5人が同じ発行者、1人が別々）。同じ発行者で進めてよいか。
委員	質問がある。今までも同じ発行者となっていたのか。
会長	前回のものは同じ発行者になっている。
委員	同じ発行者にこだわる必要はないと思う。
会長	それでは地理・歴史・公民それぞれ選定していくということにする。地理について御意見いただきたい。
委員	東京書籍と日本文教出版の北アメリカ州を比較すると、最初のページに、マンハッタンの航空写真が出てきて、特徴的な気候を学んだり、農業生産や工業生産を学んだりする内容である。そして、文化的な面まで触れており、ほとんど同じような構成になっているが、東京書籍の111ページのように、これまで学んだことを我が国の視点から見てどうなのかという学習に集約するようなページがあるところが違う。かんがい施設はどちらも同じように出てくるのだが、日本とアメリカの基本的な違いとして、農民一人あたりの農地面積の違い、機械保有台数の違い、収穫量の違いなど、農業規模の違いがしっかりクローズアップされていて、日本の視点で比較しながら学習を進めることができる東京書籍が優れている。
委員	内容ではどの発行者も、宮崎平野や宮崎地頭鶏、畜産など宮崎に関する資料が出てきており、生徒にとって親しみやすい内容になっている。特に東京書籍は、第4章に地域の在り方の中で宮崎市が事例として取り入れられているため、より身近なものとして学習できるのではないか。
会長	意見のあった東京書籍と日本文教出版の2者から地理の教科書を選定する。
委員	意見がある。韓国の扱い方について、東京書籍は9行程度、日本文教出版は4行程度扱っている。このような時期であるからこそ韓国、中国をより扱ってほしいと考えると、帝国書院はバランスがよい。
会長	帝国書院を加えた3者から地理の教科書を選定する。（挙手で確認） 東京書籍が5名、帝国書院が1名となったため、地理は東京書籍に決定する。

社会（地理・歴史・公民・地図） 協議	
発言者	発言内容
会長	公民について御意見いただきたい。
委員	日本文教出版の60ページには情報スキルが扱われている。これからの社会で生きていく中での情報への向き合い方は、本地区の生徒の実態に合っている。
委員	基本的な人権の尊重に関する記述を見ると、東京書籍48ページから出てくるハンセン病、アイヌ、朝鮮人への差別、バリアフリー、インクルーシブなど、事実に基づいてしっかり記述されている。
委員	教育出版、日本文教出版、東京書籍の3者が相応しい教科書だと思う。
会長	公民の選定に入る。（挙手で確認） 日本文教出版2名、東京書籍4名となり、公民は東京書籍に決定する。
会長	地図について御意見いただきたい。
委員	帝国書院が優れている。北アメリカの鳥瞰図が掲載されている帝国書院の61ページと東京書籍73ページを比較すると、帝国書院の鳥瞰図の方が見やすい。下に関係する資料が出てくるのだが、帝国書院はより詳しく説明するページがある。また、地図帳の重さを測ったところ東京書籍が約575g、帝国書院が約505gであった。帝国書院はサイズが大きい上に軽いという利点がある。
会長	地図の選定に入る。（挙手で確認） 帝国書院6名となった。地図は帝国書院に決定する。
会長	歴史について御意見いただきたい。
委員	ほとんどの教科書に見開き年表がついており、どの時代の学習をしているのか意識しやすくなっている。山川出版は詳しい歴史内容ではあるが、見開き年表がついていないのが他者と違う。
委員	興味をもって読み進めるのは山川出版の教科書である。
会長	山川出版の教科書は、歴史をより詳しく知りたい生徒には楽しい教科書である。しかし、教科書は学びのための教材であり、子どもたちにとっては探究活動のように自分たちで調べたことを生かして学習できることが重要である。

社会（地理・歴史・公民・地図） 協議	
発言者	発言内容
委員	山川出版104ページ、東京書籍102ページを比べてみると、ヨーロッパのルネサンスと宗教改革の記載があり、どちらの教科書にも使われている資料はほとんど同じである。次のページを見ると、大航海時代についてもほとんど変わらない。どちらが子どもにとってよいのか考えると、内容的に変わらないのであれば、地理や公民において東京書籍が選定されたので、同一の発行者である東京書籍がよいのではないかと思う。
会長	外国の偉人の名前の表記に着目すると、山川出版は「ルター」だが、東京書籍は「マルティン・ルター」とあり、正式名に近い記載が見られる。
委員	他のページを見ても、東京書籍は外国人の名前を正式名に近いように記載している。
委員	東京書籍が一番バランスがよい教科書であり、この地区の生徒の実態から考えてもふさわしい。
会長	歴史の選定に入る。（挙手で確認） 東京書籍6名となった。歴史は東京書籍に決定する。

技術 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	技術の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (技術 質疑応答)
会長	各発行者のQRコードを比べたときに、特徴的な教科書はあるか。
専門委員長	どの発行者も作業の動画コンテンツは共通しており、東京書籍は他教科のコンテンツにもつながる工夫がされている。
委員	技術の免許をもつ専門の先生は各学校にいるのか。
専門委員長	全体的に人数は少ない。小規模校においては配置されていない学校がある。



会長	専門ではない教員が教えている状況もある。そのような教員にも教えやすい教科書はあるのか。
専門委員長	東京書籍も開隆堂も、専門的な内容が豊富に掲載されており、内容面で優れている。その中で、東京書籍は写真やイラストが多く掲載されており、専門ではない教員にとっても、専門の教員にとっても使いやすいと思われる。

家庭 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	家庭の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (家庭 質疑応答)
会長	各発行者の QR コードを比べたときに、特徴的な教科書はあるか。
専門委員長	大きな違いはなく、各発行者工夫を凝らしている。QR コードにアクセスすると、東京書籍はデジタルコンテンツ一覧につながり、教育図書は单元ごとにまとまったサイトにつながる。開隆堂はデジタルコンテンツにすぐにつながり、見ることができる。動画コンテンツの内容に違いはなかった。
委員	私も検索したが、教育図書の QR コードには、見ることのできなかつたコンテンツがあった。

英語 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 事務局長	英語の研究成果について、報告を求める。 (説明) 委員に見本本の閲覧を促す。 委員より質問を受け付ける。 (英語 質疑応答)
会長	各発行者の QR コードを比べたときに、特徴的な教科書はあるか。

<p>専門委員長</p>	<p>どの教科書にも QR コードが掲載されている。例えば、東京書籍は本文や単語の音声を読み込むことができ、開隆堂は本文の音声、三省堂は本文や単語の音声、教育出版は本文の音声、光村図書は本文の音声、啓林館は本文や単語の音声などを読み込むことができる。これ以外にも動画を閲覧できるものもあった。</p>
<p>会長</p>	<p>動画を閲覧できるのはどこの発行者か。</p>
<p>専門委員長</p>	<p>三省堂である。</p>
<p>委員</p>	<p>英語を学習する上で、スキルを身に付けることも大切だが、英語のもつ文化的背景や日本をどのように表現しているのかも大切である。その点で、特徴的な教科書はあるか。</p>
<p>専門委員長</p>	<p>宮崎県を取り扱っている教科書がある。開隆堂では、「青島ビーチ」と「マンゴー」が扱われている。</p> <p>啓林館では、九州各県の面積比較で宮崎県が扱われている。東京書籍では、東日本大震災が扱われている。東京オリンピック・パラリンピックは、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書が取り扱っており、それぞれ英語表現に生かせる内容である。</p>
<p>委員</p>	<p>UD フォントを採用している教科書はどれか。</p>
<p>専門委員長</p>	<p>全ての教科書が UD フォントやユニバーサルデザインを採用している。</p>
<p>委員</p>	<p>グローバル化が進み、英語を話せるようになることが重視されるようになってきたが、英語の学習で大切なことは、学んだことを自分で整理して自分のものにすることである。その点においてどのような工夫が見られるか。</p>
<p>専門委員長</p>	<p>基礎・基本がしっかり身に付いていないと「話す」、「聞く」、「書く」、「読む」の技能を統合的に活用することは難しいが、どの教科書も基礎・基本の定着を図り、4つの技能のうち2つ以上の技能を結びつけて活動できるように工夫されている。</p> <p>例えば、人の話を聞いて、自分なりに書き留めて、また別の人に話すような活動を取り入れるなど、今後更に必要となるコミュニケーション能力が高まるように構成されている。</p>

技術、家庭、英語 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、技術の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (技術 協議)
会長	技術について御意見いただきたい。
委員	生物育成に関する部分で3者を比べてみた。東書書籍104ページ、開隆堂118ページ、教育図書102ページである。教育図書は、ミニ大根、ミニトマト、小松菜、キュウリ、チューリップ、パンジーが掲載されている。開隆堂は、118ページのトウモロコシに始まり、9種類くらいの作物が掲載されている。東京書籍は、106ページからイチゴを含め20種類くらい掲載されている。また、それに加えて、土の作り方、種まきの仕方、かん水の仕方、追肥などが掲載されており、非常に分かりやすい。連作障害についても詳しく書いている。農業に携わることの少ない生徒にとって参考になるため、東京書籍は優れている。
委員	生物育成計画をみると、栽培計画の例としてミニトマトが掲載されている。開隆堂117ページのミニトマトの育成計画では、「土づくり」や「支柱立て」など技術的な面で項目が立てられている。東京書籍105ページは、時系列に沿って書かれており、分かりやすい。教育図書は、95ページあたりになるが、「管理作業の計画」という記載があり、東京書籍と内容は似ている。教育図書は親しみやすいが、技術という性質を考えると東京書籍くらいの掲載量がほしい。本地区の生徒の実態から考えると、開隆堂は少し専門性が高く感じられる。
会長	技術の選定に入る。(挙手で確認) 開隆堂1名、東京書籍5名となった。技術は東京書籍に決定する。
委員	次に、家庭の協議に入る。 家庭について御意見いただきたい。
委員	家庭生活の中心である衣食住ということであるため、どの教科書もよく整理されている。「消費生活」における教科書の記述を比較してみると、どの教科書も大事なことを記載しているが、東京書籍の184、185ページには一連の学習の流れが示されており、理解しやすい。「消費者としての自覚」、「購入方法と支払い方法」、「バランス良く計画的な金銭の管理」、「消費者トラブルとその対策」、「消費者のための法律や制度」、「何を考えて決めますか」という流れで、分かりやすく理解しやすい内容で構成されているため、東京書籍がよい。

技術、家庭、英語 協議	
発言者	発言内容
会長	動画が動かず、デジタルコンテンツの評価ができない教科書もあった。東京書籍は内容だけでなく、Dマークからつながるデジタルコンテンツが優れていた。
委員	家庭の選定に入る。(挙手で確認) 東京書籍6名となった。家庭は東京書籍に決定する。
事務局	次に、英語の協議に入る。 英語について御意見いただきたい。
委員	英語の学習が分からなくなると、後の学年まで影響が大きい。小学校の教科書の学習の進め方と中学校の学習の進め方は同じである方がよいのか。
委員	小学校で現在使っている教科書は東京書籍であるが、どの発行者も小学校で学んだことを中学校に無理なくつなげることを意識した構成となっている。
会長	英語は他の教科に比べて教科書の文字が小さい。開隆堂は他の教科書に比べて文字が大きく見やすいため、開隆堂が優れている。
委員	東京書籍が分かりやすい。1年生の教科書の目次の部分には、小学校生活の振り返り、中学校生活の始まりから一連の流れで学習が進んでいる。文法については右側に記載してある be 動詞と一般動詞、名詞、疑問詞、三人称単数現在形、代名詞、現在進行形、過去形と過去進行形を学ぶようになっている。2年生でも同じ学習の流れになっている。学んだことが整理してあり、学習のポイントをしっかりと押さえているため、他の教科書よりも分かりやすい。また、英語の歌がカーペンターズの「Sing」に始まり、ジョンレノンの「Hello, Goodbye」など、生徒にとって興味・関心を抱きながら学習できるような内容や構成になっている。
委員	開隆堂は、フォントが大きくて見やすいのだが、紙質が白くて目が疲れる。東京書籍のフォントは若干小さいが、紙質では目に優しい。
会長	英語を選定する。(挙手で確認) 開隆堂2名、東京書籍4名となった。英語は東京書籍に決定する。

道徳 報告 質疑

発言者	発言内容
事務局長	道徳の研究成果について、報告を求める。
専門委員長	(説明)
事務局長	委員に見本本の閲覧を促す。
事務局長	委員より質問を受け付ける。
	(道徳 質疑応答)
会長	発行者によって付属のノートがあるものとなないものがあるが、研究する中でどのような感想をもったか。
専門委員長	日本文教出版と廣済堂あかつきの2者が付属のノートを採用している。付属のノートのメリットは、教師がワークシートなどを準備する必要がないことや、ノートに記録を残すことで、教師が生徒の成長を把握できることである。また、生徒もノートを見て振り返ることで、自分の心の変容に気付くことができる。デメリットとしては、教材をもとに考えさせる道徳的価値の視点が限定されてしまうこと、それによって授業の展開が固定化されてしまうこと、生徒が教師の意図を先読みしてしまい、表面的な活動になってしまうことなどが考えられる。
会長	今使っている道徳の教科書の内容や学びやすさ、指導のしやすさに課題はあるか。
専門委員長	今のところ、課題はない。
委員	宮崎県に関わる内容を扱っている教科書はあるのか。
専門委員長	井上康生さんの柔道家としての生き方を取り扱っている教科書が日本文教出版である。また、宮崎県の医師である柴田紘一郎さんのエピソードをもとに、さだまさしさんが作詞した「風に立つライオン」を取り扱っている教科書が教育出版、日本文教出版、あかつきの3者ある。また、高鍋藩出身で米沢藩藩主となった上杉鷹山を取り扱っている教科書が学研である。 その他、巻末での人物等の紹介として小村寿太郎、安井息軒、石井十次を扱っているのが教育出版である。また、巻末での郷土玩具の紹介として久峰うずら車を扱っているのが光村図書である。

道徳 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、道徳の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (道徳の協議)
会長	道徳について御意見いただきたい。
会長	研究を進める上でノートについての言及があったが、日本文教出版とあかつきの2者は外して4者で選定を進めていくということによろしいか。(全員同意)。それでは教育出版、学研、東京書籍、光村図書の4者に絞って選定を進めていく。この4者の御意見をいただきたい。
委員	私が小学校のときに読んだ菊池寛の「恩讐の彼方に」は、寛容の精神という道徳の教材として取り上げられている作品で、この年齢になってもすばらしい文章だと思える。中学生にもぜひ読んでほしい。光村図書の1年の教科書には、小学校でも取り上げられていた「橋の上の狼」、2年では、「泣いた赤鬼」、3年では「手品師」など、小学校のときに学んだことをもう一度学び直したら、あなたはどのようなことを感じたり考えたりするでしょうかという問いがあるなど、学び直しとして取り扱っている。大事にしてほしい視点だと考える。
委員	光村図書は、本文が意外と短い。最後のページに「考えよう」、「見方を変えて」「つなげよう」という構成になっているが、生徒にとって答えやすいと思う。それが全部の内容で同じ構成であるため、光村図書が相応しい。
委員	光村図書は、デジタルコンテンツにつながるQRコードが各ページに掲載されており使いやすい。
会長	それでは、道徳の選定に入る。(挙手で確認) 光村図書6名。道徳は光村図書に決定する。

中学校 選定結果の確認	
発言者	発言内容
事務局長	選定結果を確認する。 国語(光村図書)、書写(東京書籍)、地理(東京書籍)、歴史(東京書籍)、公民(東京書籍)、地図(帝国書院)、数学(啓林館)、理科(啓林館)、音楽一般(教育出版)、音楽器楽(教育出版)、美術(光村図書)、保健体育(東京書籍)、技術(東京書籍)、家庭(東京書籍)、英語(東京書籍)、道徳(光村図書) 以上のとおり決定した。